

JRの責任産別として
組織と運動を磨き、
すべての関係者との対話を通じて
強しなやかなJR産業を築こう!

http://www.jr-rengo.jp



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10
東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590
FAX (NTT) 03-3270-4429
1部20円(但し組合費に含む)
●発行者/上村良成 ●編集者/宮野勇馬

facebook
JR連合

(旧twitter)
JR連合



上村新会長のもと新体制で重点政策課題解決に向け一丸となって運動を推し進める

第35回定期大会

JRの責任産別として組織・運動を磨き 強しなやかなJR産業を築く

新体制で政策実現に向けスタート

JR連合は6月10日・11日の両日にわたり、都内にて第35回定期大会を開催した。会場には代議員ら約230人が参集し、真摯な討議を経て、2025年度の運動方針を満場一致で決定した。

今大会では、新たに加盟した「四国鉄道機械ユニオン」「JR九州ホテルズアンドリゾーツ労働組合」の2単組を紹介し、盛大な拍手で歓迎の意を表した。そして、JR二島・貨物会社がさらに40年世の中へ貢献するために、「JR連合が緊急に対応を求める重点政策課題について」課題解決に向けた方向性を示した。また、役員改選では上村良成氏を会長とする新体制を確立した。

大会は、小林徹志副会長（JREユニオン中央執行委員長）の開会挨拶で幕を開け、大会議長団に寶地雄大代議員（JR東海ユニオン）、香西若菜代議員（JR四国労組）を選出して議事が進められた。

来賓には、芳野友子連合会長、池之谷潤交運労協議長、榛葉賀津也参議院議員をはじめとする国会議員懇談会、そして7月に予定さ

れている第27回参議院議員選挙に全国比例にて立候補を予定されている議員をはじめ、多くのご出席を頂いた。（来賓名簿別掲）

冒頭挨拶に立った荻山市朗会長は、JR連合結成に至る経緯を振り返り、結成大会での「対立と分裂の歴史に終止符を打ち、二度と悲劇を繰り返さない」とのアピールに込められた決意を忘れてはならないと訴え

るとともに、安全確立・産業政策・労働政策・組織と労使関係・多様性と男女平等参画の推進・政治活動などについて提起した。（詳細は別掲「挨拶要旨」）

その後、執行部から経過報告、運動方針案を提起した。また、新たにJR連合に加盟した四国鉄道機械ユニオンの松岡翔汰執行委員長、栗飯原弘季書記長、JR九州ホテルズアンドリゾーツ労働組合の永利嘉規執行委員長、岡本直樹書記次長に加盟証書を贈呈した。

大会2日目の再開に先立ち、石川敏也産業政策局長より、「JR連合が緊急的

31年間の組合専従活動を通じて得た経験と教訓を共有し、運動方針に関する問題提起とともに、最後の挨拶としたい。

1988年4月、JR西日本に入社。国鉄改革前の1年間で7万6千人が職場を去り、現場は組合所属の連立で対立や分断が横行。こうした状況で旧JR西労組に加入、1991年の「JR総連からの決別」提起の現場にも居合わせた。翌年、JR連合の結成大会で「対立と分裂の歴史に終止符を打ち、二度と悲劇を繰り返さない」との決意が示された。互いを認め合い、団結することが労働組合の本質だ。民営化でJR各社は経営の自主性を持ち、成長投資や処遇改善が可能になったが、好

◆安全の確立と信頼回復
JR各社で相次いで明らかとなった不正や重大インシデントは、安全とコンプライアンスへの信頼を大きく揺るがせた。人命を失う悲劇を二度と繰り返さないためにも、職場からの安全確立に妥協なく取り組む責務を訴える。

◆将来を見据えた産業政策
JR発足から37年が経ち、国鉄の存続期間を超えた今、見直し期限を迎える。

31年間の組合専従活動を振り返り 次代に期待すること

会長 荻山市朗

人口減少と社会構造の変化を踏まえ、民間では責任を持ってない地方路線などでは、上下分離を含む官民パートナーシップの強化が不可欠。

◆組織拡大と健全な労使関係
健全な労使関係と持続的成長のため、グループ各社を含むすべての仲間の総結集が不可欠。JR東日本では社員の約8割が労働組合未加入で、社友会が経営のパートナーと位置付けられているが、これは労働組合の代替とはなり得ない。JREユニオンでは計39人の組織拡大を果たし、新鉄道との連携も深化し、JR連合加盟を視野に検討も進めていただいている。

◆賃上げと人材確保
2025春季生活闘争では、「ONETEM」を掲げ、JR7単組は連合平均を上回り、グループも連合中小組合平均と同水準を確保した。成果を高く評価しつつも、上場・非上場間の格差、労務費転嫁の不十分さは課題として残る。JR九州は運賃改定の理由に

◆政治活動の重要性
昨年の総選挙で与党が過半数を割った。今こそ、鉄道の発展のため、国の政策方針や予算の配分構造を転換するチャンス。参院選では、JR連合が推薦する候補者の全員当選をめざし、全力で取り組む。

◆民主的組織である労働組合で、組合員の信任を得て活動できたことを誇りに思う。すべての仲間が一致団結し、JR産業の発展と働く者の幸せ実現のため、力強い行動を訴える。



◆安全の確立と信頼回復
JR各社で相次いで明らかとなった不正や重大インシデントは、安全とコンプライアンスへの信頼を大きく揺るがせた。人命を失う悲劇を二度と繰り返さないためにも、職場からの安全確立に妥協なく取り組む責務を訴える。

◆組織拡大と健全な労使関係
健全な労使関係と持続的成長のため、グループ各社を含むすべての仲間の総結集が不可欠。JR東日本では社員の約8割が労働組合未加入で、社友会が経営のパートナーと位置付けられているが、これは労働組合の代替とはなり得ない。JREユニオンでは計39人の組織拡大を果たし、新鉄道との連携も深化し、JR連合加盟を視野に検討も進めていただいている。

◆賃上げと人材確保
2025春季生活闘争では、「ONETEM」を掲げ、JR7単組は連合平均を上回り、グループも連合中小組合平均と同水準を確保した。成果を高く評価しつつも、上場・非上場間の格差、労務費転嫁の不十分さは課題として残る。JR九州は運賃改定の理由に

◆政治活動の重要性
昨年の総選挙で与党が過半数を割った。今こそ、鉄道の発展のため、国の政策方針や予算の配分構造を転換するチャンス。参院選では、JR連合が推薦する候補者の全員当選をめざし、全力で取り組む。

◆民主的組織である労働組合で、組合員の信任を得て活動できたことを誇りに思う。すべての仲間が一致団結し、JR産業の発展と働く者の幸せ実現のため、力強い行動を訴える。



- | | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 会長 | 上村 良成 | 執行委員 | 谷口 昌隆 |
| 副会長 | 人見 圭一 | 執行委員 | 宮野 勇馬 |
| 副会長 | 小林 徹志 | 執行委員 | 石川 敏也 |
| 副会長 | 尾内 裕昭 | 執行委員 | 住吉 一家 |
| 副会長 | 大谷 清再 | 執行委員 | 文野 新 |
| 副会長 | 吉田 祥司 | 執行委員 | 吉田 春菜 |
| 副会長 | 辻村 和裕 | 執行委員 | 宮崎 勝典 |
| 事務局長 | 今井 孝治 | 会計監査員 | 福本 英治 |

- ◆新任役員
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 荻山市朗 | 政所大祐 | 相良夏樹 | 羽野敦之 |
|------|------|------|------|

に対応を求める重点政策課題について」と題し、次なる40年を展望した問題意識を示すとともに、JR北海道・四国・貨物の経営自立、高速鉄道・新幹線ネットワークの主要課題を提起し、課題解決への方向性を示した。

質疑では、11人の代議員・特別代議員から、グループの課題を提起し、課題解決への方向性を示した。

役員改選では、長年にわたりJR連合運動を牽引してきた荻山市朗会長と政所事務局長が、新体制でスタートさせた。

◆組織拡大と健全な労使関係
健全な労使関係と持続的成長のため、グループ各社を含むすべての仲間の総結集が不可欠。JR東日本では社員の約8割が労働組合未加入で、社友会が経営のパートナーと位置付けられているが、これは労働組合の代替とはなり得ない。JREユニオンでは計39人の組織拡大を果たし、新鉄道との連携も深化し、JR連合加盟を視野に検討も進めていただいている。

◆賃上げと人材確保
2025春季生活闘争では、「ONETEM」を掲げ、JR7単組は連合平均を上回り、グループも連合中小組合平均と同水準を確保した。成果を高く評価しつつも、上場・非上場間の格差、労務費転嫁の不十分さは課題として残る。JR九州は運賃改定の理由に

◆政治活動の重要性
昨年の総選挙で与党が過半数を割った。今こそ、鉄道の発展のため、国の政策方針や予算の配分構造を転換するチャンス。参院選では、JR連合が推薦する候補者の全員当選をめざし、全力で取り組む。

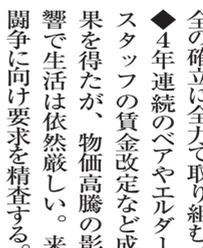
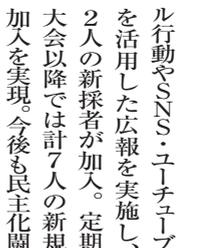
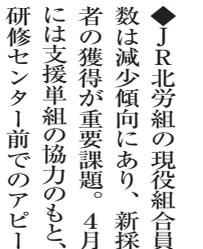
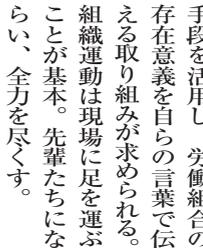
◆民主的組織である労働組合で、組合員の信任を得て活動できたことを誇りに思う。すべての仲間が一致団結し、JR産業の発展と働く者の幸せ実現のため、力強い行動を訴える。

質疑討論

代議員・特別代議員発言(要旨) 積極的な討論で運動方針を補強

菅野一位代議員(JREユニオン)

◆本年、秋田および新鉄労組から計39人の仲間がJREユニオンへ加入・合流した。関係者の支援に心から感謝。引き続きJR連合への総結集に取り組む。



◆相次ぐ輸送障害や不正事案、そして清掃作業中の労災死亡事故など、安全・ガバナンスを巡る課題も深刻。会社を願いたい。

◆JR北労組と貨物鉄産労若年層を中心とした組織拡大が進み、とりわけJR

◆今年度の青・女研修会ではカスハラを学び、課題意識を深めた。また、滋賀で開催された第29回ユニス

◆JR北労組の現役組合員数は減少傾向にあり、新採者の獲得が重要課題。4月

◆政治セミナーなどの経験が組合員の意識を変えることを実感。JR貨物での第

◆四国新幹線実現に向けた署名への協力を深く感謝。参院選では広田氏ら推薦候補の全員当選に取り組む。

◆JR九州高速船「クイーンビートル」の不透明感に、労働組合のチカラを機能

◆JR連合の財政提案には賛同するが、非正規組合員の扱いは慎重な対応を。

田中佑佳代議員(JR西労組(男女平等参画))

◆JR連合では第4次男女平等参画行動目標に基づき女性の参画拡大が進められ、一定の成果が見られる。しかし、私のような長年の役員と青・女世代に偏っており、役員の循環と幅広い世代的参画が必要。不規則勤務や育児・介護との両立を背景に引き受け手が少ない現状に対し、リモート活用や子連れ参加の推進など柔軟な活動様式に本気で取り組む必要がある。

◆2月以降、関西地域で1人の加入があった。東海地区本部でも、久々に支社前で加入行動を実施した。今後も継続的に取り組む。貨物鉄産労も民主化運動を着実に進める。

◆参院選に向け榛葉議員や森屋議員の必勝をめざす。◆アポルール改定に向けた協議への支援に感謝しつつ、今後も積極的に関与していく。

◆安全対策委員会への参加を通じて、多くの学びと刺激を受けている。福知山線列車事故現場の献花行動に参加し、安全の重みを改めて痛感した。単組役員や組合員にも機会の拡充を求めたい。

◆2025年春季生活闘争では社会水準に見合う賃上げを掲げ、グループ労組も奮

◆政局の混迷を踏まえつつ、候補者個人を支援する姿勢を貫き、推薦候補全員の勝利に向けて取り組む。

◆地域交通法の施行以降、美祿線のBRT復旧、芸備線の増便実験など動きが進展。組合員の不安に向き合い、地域との対話を重視してきた。

◆民主化闘争では各単組で

◆安全は事業の基盤。AI等の導入が進んでも最終的には人の介入が不可欠。安全性役員ネットワーク委員会を立ち上げた。教育体制の整備にも尽力する。

◆直営化や多様な雇用形態への対応として全員加入の取り組みを進めるとともに、昨年10月には地域社員の社員化も実現。JR九州ホテルズアンドリゾートの結成にも至った。来年には車両検修業務の専営化・委託拡大も予定されており、不安の払拭と雇用確保に注力する。

和田貴幸代議員(貨物鉄産労)

◆昨年度は各社で信頼を損なう事象が続発。このままでは再び大事故が起きるのではないかと危惧。JR貨物では東京貨物ターミナルに「刻心塾」を設け、安全意識を高めている。JR連合同としても信頼される産業の構築へ向けた安全施策の強化を求める。

◆安全対策委員会への参加を通じて、多くの学びと刺激を受けている。福知山線列車事故現場の献花行動に参加し、安全の重みを改めて痛感した。単組役員や組合員にも機会の拡充を求めたい。

◆2025年春季生活闘争では社会水準に見合う賃上げを掲げ、グループ労組も奮

◆政局の混迷を踏まえつつ、候補者個人を支援する姿勢を貫き、推薦候補全員の勝利に向けて取り組む。

◆地域交通法の施行以降、美祿線のBRT復旧、芸備線の増便実験など動きが進展。組合員の不安に向き合い、地域との対話を重視してきた。

◆民主化闘争では各単組で

◆安全は事業の基盤。AI等の導入が進んでも最終的には人の介入が不可欠。安全性役員ネットワーク委員会を立ち上げた。教育体制の整備にも尽力する。

◆直営化や多様な雇用形態への対応として全員加入の取り組みを進めるとともに、昨年10月には地域社員の社員化も実現。JR九州ホテルズアンドリゾートの結成にも至った。来年には車両検修業務の専営化・委託拡大も予定されており、不安の払拭と雇用確保に注力する。

◆肥薩線の上下分離による再開合意に、日常利用の創出や防災対策が課題。関係機関との連携強化が必要。西九州新幹線整備などの課題にも政治との連携で対応する。

◆引き続き労働組合の意義を訴えていきたい。

矢田尊弘代議員(JR西労組(自動車))

◆昨年は西日本JRバスでの携帯操作による事故や、北海道バスでの健康起因による転落事故など、信頼を損ねる事象が相次いだ。アサシオンの徹底と「A」当たり前のことを、B、Cにせよ、C、B、AとすることのABC運動を改めて提案し、安全を最優先に位置づけていく。

◆関係会社社員の死亡災害など複数の事象が発生。JR東海ユニオンではアサシオンの浸透や心理的安全性に着目した取り組みも実施。◆安全指針「重大労災防止の行動指針」の位置づけ

◆2026年の労働基準法改正に向けた議論について、組織運動との連携を重視し、労働組合の優位性を引き続き訴えてほしい。

◆JR北労組やJREユニ

◆福知山線列車事故から20年、安全確立は道半ば。安全教育が4割にとどまるなどの課題も。

◆民主化闘争では各単組で

◆安全は事業の基盤。AI等の導入が進んでも最終的には人の介入が不可欠。安全性役員ネットワーク委員会を立ち上げた。教育体制の整備にも尽力する。

◆直営化や多様な雇用形態への対応として全員加入の取り組みを進めるとともに、昨年10月には地域社員の社員化も実現。JR九州ホテルズアンドリゾートの結成にも至った。来年には車両検修業務の専営化・委託拡大も予定されており、不安の払拭と雇用確保に注力する。

◆肥薩線の上下分離による再開合意に、日常利用の創出や防災対策が課題。関係機関との連携強化が必要。西九州新幹線整備などの課題にも政治との連携で対応する。

◆引き続き労働組合の意義を訴えていきたい。

谷口昌隆代議員(JR東海ユニオン)

◆関係会社社員の死亡災害など複数の事象が発生。JR東海ユニオンではアサシオンの浸透や心理的安全性に着目した取り組みも実施。◆安全指針「重大労災防止の行動指針」の位置づけ

◆2026年の労働基準法改正に向けた議論について、組織運動との連携を重視し、労働組合の優位性を引き続き訴えてほしい。

◆JR北労組やJREユニ

◆福知山線列車事故から20年、安全確立は道半ば。安全教育が4割にとどまるなどの課題も。

◆民主化闘争では各単組で

◆安全は事業の基盤。AI等の導入が進んでも最終的には人の介入が不可欠。安全性役員ネットワーク委員会を立ち上げた。教育体制の整備にも尽力する。

◆直営化や多様な雇用形態への対応として全員加入の取り組みを進めるとともに、昨年10月には地域社員の社員化も実現。JR九州ホテルズアンドリゾートの結成にも至った。来年には車両検修業務の専営化・委託拡大も予定されており、不安の払拭と雇用確保に注力する。

◆肥薩線の上下分離による再開合意に、日常利用の創出や防災対策が課題。関係機関との連携強化が必要。西九州新幹線整備などの課題にも政治との連携で対応する。



一致団結した力強い運動の展開を呼びかける荻山会長



スムーズな議事進行で大会を成功に導いた實地・香西両議長

執行部答弁 (要旨)

代議員の声を活かして 新体制での運動を具体化

住吉労働政策局長 (教育局長・グループ労組担当)

2025年春季生活闘争は、社会水準を強く意識した高水準の要求設定を行い、各単組やエリア連合、地協、県協の理解と協力により方針が浸透し、一定の成果を得た。JR連合として産別の責務を果たしたと中間総括に盛り込んだ。

一方で、企業規模や経営体力の差が顕著に表れ、基盤整備の継続・強化が必要である。労務費の価格転嫁も道半ばであり、契約単価や委託費の見直しの取り組みも引き続きお願いしたい。

JR九州の運賃値上げに見られるように、人件費上昇による価格転嫁が社会的に受け入れられる土壌が整いつつある。これは公定価格の見直しにも通じる重要な視点であり、政治や行政への働きかけや連合や交通労協を通じた課題の共有に引き続き努めていく。

最低賃金を2020年代に1500円とする目標を政府は掲げており、低額回答を続ける企業には世の中の情勢を直視すべきと訴えていた。企業再編に伴う労組結成



も着実に進められており、連合内でも好事例と評価されている。感謝申し上げる。青・女の研修機会については、当事者の希望を聞きつつ今後も充実させていく。グループ労組に関わる財政課題については、非正規組合員には配慮しつつ、加盟人員の適正化や会費見直しなどを10年かけて実施していきたいと考えている。

各単組が会社と協議しながら進める中で、産別の役割はそれを後押しすることと認識している。その一環として、「安全指針」や「重大防災防止の行動指針」の改訂を検討しているが、今でもそのまま通用する部分も多く、改めて活用を呼びかけた。

安全は愚直な積み重ねが何より重要であり、産別として単組に新たな気づきや方向性を示せるよう努めたい。



政策の重点課題に関して、まず、四国新幹線早期実現に関する署名活動への感謝を改めて申し上げる。新幹線建設には、開業効果などの正しい理解と情報の発信が必要であり、どちらも私たちの重要な役割と認識している。

二島・貨物の課題についても、旅客会社を含め何ができるか話し合うことが必要であり、JR連合として役割を引き続き果たしていきたい。

ローカル線の課題については、今議論しなければ将来的に取り返しがつかなくなるとの認識を共有し、正しい情報と認識であり方を考えるべきと考える。

自動車関係の課題についても、国交省との意見交換や国会での発言など、政治や行政と連携し、引き続き関係省庁等へ窮状を訴えていく。

相良組織局長 (政治局長・青女男女平等参画担当)

JREユニオンをはじめ民主化3単組はこの1年で大きな組織拡大を果たした。苦しい面もあったと思うが、JR連合と連携して取り組んでいただいたことに感謝申し上げる。一方、支援単組も関わっての取り組みには課題も残した。繰り返して伝えてきたが、組織拡大に向けては、JR連合運動をまずは広く知って貰うことが重要だ。個々の役員が意識して情報発信していくことを求める。

大会宣言

私たちは本日、「東武ホテルレバント東京」で第35回定期大会を開催し、2025年度の運動方針を満場一致で決定した。日本社会で人口減少や労働力不足が深刻さを増し、社会が極めて流動的で激しく変化する中、私たちは「産業の大転換期」に直面している。JR足利から38年が経過し、国鉄改革期に構築された様々な仕組みにも重たい課題が顕在化している。JR連合は、持続可能な形で新たな産業を創るため、各関係主体との対話を重ね、産業と組織の抱える構造的な課題を明確化し、提言や主張を行ってきた。引き続き、「JR連合ビジョン」で示しためざすべき労働組合の姿を徹底して追求するとともに、様々な変化に機動的に対応し、産業の持続的な発展を実現していく。

安全の確立については、本年度で発生から20年を迎えた福知山線列車事故をはじめとする重大事故から得た教訓を決して風化させず、悲劇を絶対に繰り返さないという決意のもと、コンプレックスを乗り越え、安全を創り上げる運動を推進する。昨今発生している様々な事故や安全上の命を奪われるような重大な事故は、JR産業に対する社会的信用を失墜させ、利用者や働く者の命や健康を脅かすことである。危機意識を最大限に高め、最重要課題として労使で向き合えなければならない。「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」の実現に向け、エリア連合やJRグループ労組連絡会とも連携し、すべての加盟単組とともに事故を未然に防ぎ、仲間を守る取り組みを推進する。

組織の強化・拡大については、仲間を徹底して寄り添う世話役活動を展開するとともに、労働組合が持つ「働く者としての目」の役割を今一度認識し、労使での対話を重ね、様々な変化に立ち向かっていく。世代交代が進む民主化当該単組では、支援単組との連携に基づき組織拡大が成果を出しつつある。JR連合への総結集を果たすべく、引き続き、グループ会社を含め連帯の輪を広げる取り組みを深化させていく。労働基準関係法制見直しへの動きが対しては、わが国の財産ともいえる民主主義である労働組合の拡大や充実の重要性を各方面に訴えていく。

産業政策については、現在の課題に機動的に対処しつつ、中長期的な視点からJR産業の持続的成長・発展をめざす取り組みを展開していく。とりわけ、「JR二島・貨物会社の経営自立実現」と「高速度新幹線ネットワークの構築・計画推進」を重点課題とし、時間軸を意識しながら、連合や交通労協、会社や政治・行政等すべての関係主体と課題の実現に向けた連携・協働を図る。

各種課題の解決にとって必要な政治活動については、その重要性をあらためて各級機関に浸透させ、来る参院選や地方選挙において、一人でも多くの仲間を政界へ送り出す取り組みを展開する。前回の衆院選以降、政策決定プロセスにおける野党のプレゼンスが高まっている。こうした情勢を察し、政策課題や、労働組合の組織率向上や労使関係構築に関する課題の解決に向け、JR連合国会議員懇談会・議員フォーラム・地方議員団連絡会の所属議員等との連携を深める。

労働政策については、JR関係労働者のあるべき労働条件・環境を明確化した「中期労働政策ビジョン」で掲げる目標の達成に向け、中長期的な視点に立った取り組みを積み重ねる。最大の課題である「人財の確保・定着」を強く意識し、産業間格差やグループ内格差の是正も念頭に置きながら、「人財への投資」を引き続き求めていく。

男女平等参画の取り組みについても、私たちが交通運輸産業の未来を創るという気概を持ち推進していく。すべての仲間がお互いを尊重し合うことの大切さを再認識し、様々な事情や背景を抱える人財が活躍し続けられる労働条件・職場環境を創り上げていく。不確実性の増す社会・時代を生きていくためには、JR産業に集うすべての仲間・関係者が「ONE TEAM」となり、様々な課題に立ち向かっていかなければならない。本定期大会で決定した運動方針に基づく活動を、グループ労組を含めたすべての加盟単組、組合員が一丸となって取り組むことにより、JR産業の持続的成長と組合員・家族の幸せ実現に向け邁進する。

以上、宣言する。 2025年6月11日

日本鉄道労働組合連合会 (JR連合) 第35回定期大会

総括答弁 (要旨)

運動を丁寧に見えろ さらには大きな輪を創り出そう

事務局長 政所大祐

すべての基礎「安全確立」 安全は職場最前線から創り上げるものであり、職場でのきめ細やかな取り組みの積み重ねが最も肝要。職場活動を丁寧に進める、強くしなやかな人財を育成し増やすことが産業の生命線。発生した不安全事故を重く受けとめ、危機意識を強めて「人」の性質や行動に強いスポットライトを当てる。安全対策委員会を主体に、視点や切り口等を整理・発信し、器材も更新する。

「労働関係基準法の見直し」 職場や人財が見えなくなるような動きは是正すべき。労基法は引き下げや緩和ができない最低基準を定めた、労働者保護のための強硬法規。個別労使での安易な「調整・代替」を認めることは法の存在意義の否定に等しい。

「労働政策」と「多様性」 産業をつくる「人」が意欲高く働き続けられるよう、中期的な視点を持ち、多様な事情・背景を持つ人財を「包摂」する産業を創る。働く者側から見える世界があり、労働組合があるからこそ包み込める人財もいる。今春季生活闘争の成果と課題を踏まえ来春季生活闘争に臨むが、他産業や社会の情報を産別に求めてほしい。ONET EAMで立ち向かおう。

「政策実現の要「政治活動」」 政局の変化を効果的に活用する。まずは7月の参院選において推薦候補の当選に向けしっかりと対応する。政策実現プロセス

「女性役員の登用は役員改選が複数で実施される今年が重要。トップリーダーメツセージのリーフレットも活用いただきたい。連合の女性役員との連携も深めたい。四国新幹線の署名活動では、関係産別から多大な協力があつた。こうしたことも念頭に、参院選では、各産別の組織内候補が過去、

組合活動をけん引する役員も多様性が大切。男女平等参画を着実に推進する体制も構築する。グループを含めた政策推進多くの課題は二者択一的な思考や硬直的な論議では解決策を見出せない。重点政策はその最たるもの。すべての関係者・関係企業、社会、行政、政治を巻き込んで現状を変える必要がある。綱渡りのような取り組み。関係者と丁寧な課題「めざす姿」を共有し「熱一」を高め、最適解を見出し実現するため粘り強く取り組む。

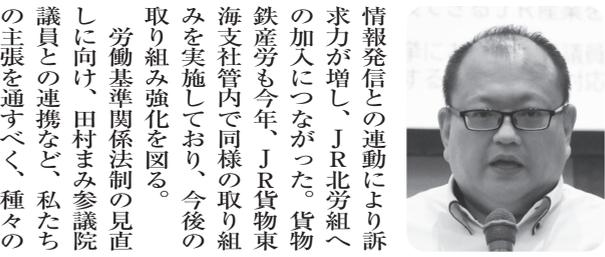
多様な業種で構成されるグループ労組活動は分科会活動と連動し、各界の主要課題を意識的に取り扱う。働く者の組織化も進める。グループ労組の組織力と財政力を計画的に強化していく。

「政策実現の要「政治活動」」 政局の変化を効果的に活用する。まずは7月の参院選において推薦候補の当選に向けしっかりと対応する。政策実現プロセス

「女性役員の登用は役員改選が複数で実施される今年が重要。トップリーダーメツセージのリーフレットも活用いただきたい。連合の女性役員との連携も深めたい。四国新幹線の署名活動では、関係産別から多大な協力があつた。こうしたことも念頭に、参院選では、各産別の組織内候補が過去、

組合活動をけん引する役員も多様性が大切。男女平等参画を着実に推進する体制も構築する。グループを含めた政策推進多くの課題は二者択一的な思考や硬直的な論議では解決策を見出せない。重点政策はその最たるもの。すべての関係者・関係企業、社会、行政、政治を巻き込んで現状を変える必要がある。綱渡りのような取り組み。関係者と丁寧な課題「めざす姿」を共有し「熱一」を高め、最適解を見出し実現するため粘り強く取り組む。

を意識し、経営側も巻き込み、時に役割分担もして動く。政党や国会の関係委員会の所属議員との連携を強化し、主要課題の国会審議への反映、情報発信を意識的に行う。関係産別との連携も強化する。民主化3単組とともに極左過激派の思想に汚染された勢力は、形を変えて思想を拡げることにより、革マルのレッテルを剥がすべく、情勢を見ながら暴虐性を隠し隠している。「時間軸が違う」ことを忘れず警戒し、仲間を守る。民主化当該3単組と一緒に走ろう。支援単組が共に行動する新採の取り組みやレク開催等に感謝。JR連合は引き続き警鐘を鳴らし続ける。地協・県協の役員にも理解と協力、運動を願う。役員



情報発信との運動により訴求力が増し、JR北労組への加入につながった。貨物鉄道も今年、JR貨物東海支社管内で同様の取り組みを実施しており、今後の取り組み強化を図る。

労働基準関係法制の見直しに向け、田村まみ参議院議員との連携など、私たちの主張を通すべく、種々の

女性役員の登用は役員改選が複数で実施される今年が重要。トップリーダーメツセージのリーフレットも活用いただきたい。連合の女性役員との連携も深めたい。四国新幹線の署名活動では、関係産別から多大な協力があつた。こうしたことも念頭に、参院選では、各産別の組織内候補が過去、

この見直しは、あくまでグループ労組運動の活性化のためである。JR連合も活用し、最大限の支援を要請する。 宮野企画局長 (広報局長、総務財政担当) 財政の強化についてこの間単組からも様々な協力をいただきた。感謝申し上げます。グループ会費についても、この間グループ労組連合会等様々な議論を積み重ねていただき、一定の結論を出していただいた。時間をかけて丁寧な浸透させていきたい。 一方で、非正規組合員については丁寧に対応することが必要と認識しており、引き続きエリア連合と丁寧な調整をさせていただきたい。



21世紀の鉄道を考える 議員フォーラム

参議院議員 小沢まさひと (JP労組)
参議院議員 もりやたかし (私鉄総連)
参議院議員 田村 まみ (UAゼンセン)
参議院議員 浜野よしふみ (電力総連)

【官公庁】国土交通大臣 中野 洋昌
厚生労働大臣 福岡 資麿
【自治体】滋賀県知事 三日月大造
【政党】立憲民主党代表 野田 佳彦
国民民主党代表 玉木雄一郎

【国会議員】幹事 参議院議員 広田 一
【衆議院議員】東克哉、石井智恵、稲富修二、白木秀剛、大築紅葉、岡田克也、奥野総一郎、尾辻かな子、神谷裕、亀井重紀子、城井崇、北神圭朗、吉良州司、近藤昭一、齋藤アレックス、白石洋一、高橋永、田嶋要、堤かなめ、津村啓介、西岡秀子、野間健、鳩山紀

【労働組合】U Aゼンセン、自動車総連、自治労、電機連合、J A M、基幹労連、生保労連、J P 労組、電力総連、情報労連、日教組、J E C 連合、運輸労連、フード連合、私鉄総連、損保労連、国公連合、航空連合、海員組合、ゴム連合、交通労連、サービス連合、全電線、紙パ連合、全国ガス、印刷労連、全水道、全自交労連、全国農団労、メディアア労連、全労金、ヘルスケア労働、全供労連、全国ユニオン、労済労連、森林労連、全印刷、自治労連、港運同盟、全造幣、鉄構労、全港湾、鉄道関連労、全日建

2025年夏季手当要求妥結状況

Table with 6 columns: 単組名, 2025年 (要求日, 要求内容, 妥結日, 妥結内容), 2024年 (妥結内容). Rows include JR北労組, JREユニオン, JR東海ユニオン, JR西労組, JR四国労組, JR九州労組, 貨物鉄産労.



民主化3単組で次々と加入 JR北労組・貨物鉄産労で加入続く

JR連合の健全かつ民主的で 真つ当な労働運動の積み重ねが実を結ぶ

5月までのJREユニオンへの39人の加入から、民主化3単組で新たな仲間が加入が続き、JR連合とともに展開する民主化闘争が着実に前進している。

【JR北労組】5月1日に社会人採用者の加入は既報のとおり。この度5月28日、29日にそれぞれ1人加入し、合計3人がJR北労組へ加入した。これで、昨年のJR連合定期大会以降、JR北労組への加入は合計7人となった。まずはこの決断に敬意を表し、加入を心より歓迎する。

【貨物鉄産労】6月17日、JR貨物労組 (JR総連) を脱退した元組合員が、貨物鉄産労へ加入した。2025年JR連合第35回定期大会以降、民主化3単組の組織拡大第1号である。この決断に敬意を表し、加入を心より歓迎する。

【友誼団体】こくみん共済coop、全国交運共済生協、明治安田生命保険相互会社、労働金庫連合会、中央労働金庫、日本生産性本部、全国労働組合生産性会議、国際労働財団、政策研究フォーラム、労使関係研究協会

Advertisement for Kokumin Kyosei (全労済) featuring the character Pittokun and text about summer bonus settlements.

加入を報じるJR北労組と貨物鉄産労の情報紙

組織部情報 九州地区本部において 組織拡大!! 6月17日付けで、2名の組織拡大がありました。

JR北労組FAXニュース 5/28付 JR北海道 新規採用者1名 5/29付 自動車支部 琴似分会1名 2名がJR北労組へ加入!!

夏季手当JR単組で妥結 全単組が昨年上回る 2025年夏季手当について、6月20日の貨物鉄産労の妥結をもって、すべてのJR単組で妥結した。

ご出席頂いたご来賓 順不同(敬称略)